

令和4年度

# 事業報告書

令和4年4月1日～令和5年3月31日

公益社団法人 日本綱引連盟

# 令和4年度 事業報告書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

## 一般概況

令和4年度もコロナ感染症の影響により各種大会等が実施されず、苦しい年度初めでしたが、7月の西日本綱引選手権大会（後援）の開催を皮切りに全国各地で例年のような大会が開催されました。連盟主催大会である栃木国体（栃木県大田原市）、2022全日本ジュニア・ユース綱引選手権大会（京都府京都市）、2023全日本綱引選手権大会（東京都世田谷区）も、コロナ感染症対策を施したなかで無事開催されました。関係各位の様々なご努力に対しまして心より感謝申し上げます。

そうしました中で、令和4年9月1日より本店所在地を、スポーツのメッカであるJAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE（東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号）へ移転完了し、令和4年度についても、以下の項目について取り組みました。

## 1 財政確立

7月の西日本綱引選手権大会（後援）を皮切りに、全国各地で例年に近い数の大会が開催されるようになり、栃木国体、2022全日本ジュニア・ユース綱引選手権大会、全日本綱引選手権大会も開催されました。そうした中で、各種登録に対する全国の選手・審判員の方たちが、「登録は全国大会に出場するために必要」といった捉え方をしている関係者が多く存在していることに気づかされました。来年度からは、各種登録費等の本来の趣旨を理解して頂けるような案内も必要と思います。

### ① 公式サポーター制度による寄付金募集事業の展開

公式サポーター制度により、一般、法人からの支援を受け、事業に活用しました。それらの内訳は以下の通りです。

令和4年度	ご寄付	2件
	法人サポーター	10件
	個人サポーター	35件

### ② 購買関係

新商品の開発については、次年度に継続して取り組みます。また、液体チヨークの販売、競技者必携の配布が実施されました。

### ③ 各種登録料の納付期限厳守

連盟運営の根幹である、加盟分担金・正会員費・競技者登録費・審判員登録費等の納入期限厳守につきましては、未だに期限を守って頂けていない関係者が散見されますが、今後は期限厳守を守って頂きたいと思っております。

## 2 ジュニア・ユース発掘、指導者育成

JSC基金助成金による、2022全日本ジュニア・ユース大会を京都市島津アリーナに於いて令和4年8月7日に実施されました。コロナ感染症の関係から、学校等の指導もあり、18チーム166名では有りましたが、全国各地から参加され、熱戦が展開されました。また、群馬県で開催されました東日本綱引選手権（後援）の前日には、地域の小学生・初心者を対象にした競技綱引体験会も実施されました。参加した小学生たちは競技綱引を体験し楽しく1日を過ごしました。今後も、このような競技綱引体験会を当連盟がサポートしながら各地方連盟が中心となり、開催していけるよう継続していきます。また、こうした体験会で指導するためにも「公認指導者コーチ1」講習会の周知を継続して地方連盟へ周知して行きます。

## 3 医科学分野

競技綱引に必要な科学的理論の習得、医学的選手管理指導について、「公認指導者コーチ1」研修会と協働して対応してきました。特に「女子選手に於ける強化のためのコンディショニング管理についても継続して取り組んで行く必要があります。

## 4 アンチ・ドーピング活動

全日本綱引選手権大会参加者を対象にし、また、「公認指導者コーチ1」の周知を継続して全国へ周知して行きます。カリキュラムにも編入し、連盟全体としてアンチ・ドーピング教育を実施してきました。今後も、連盟としてJSPO・JADAと連携して取り組みの強化が必要と思われれます。

## 組織の概要

会 員	正会員	54名	普通会員	673名
地方組織	全国9ブロック41綱引連盟			
競技者登録	977名			
審判員	A A A	59名	A A	273名
役 員	会長	1名	副会長	1名
	専務理事	1名	常務理事	1名
	理事	18名	監事	2名
委員会	組織本部			
	総務委員会、組織強化委員会、法務委員会、国際委員会			
	競技本部			
	技術審判委員会、公認スポーツ指導者育成委員会			
職 員	職 員 1名			

事業の内容（令和5年3月31日現在）

公認審判員登録及び競技者登録

都道府県別審判員登録数

令和4年度

	AAA		AA		A		合計	前年	増減		AAA		AA		A		合計	前年	増減		
	年次	新規	年次	新規	年次	新規					年次	新規	年次	新規	年次	新規				年次	新規
01	北海道			13		8	21	25	-4	25	滋賀										
02	青森			9		13	22	23	-1	26	京都		1		4		5	8	-3		
03	岩手	1		7		13	21	25	-4	27	大阪	3		12		17		32	33	-1	
04	宮城	1		1	1	3	2	8	9	-1	28	兵庫	5		6		3		14	22	-8
05	秋田	4		10		6	20	21	-1	29	奈良	1		2		3		6	6		
06	山形	2		2		2	6	5	1	30	和歌山	1		4		3		8	9	-1	
07	福島	4		8		25	37	35	2	31	鳥取	0		5		1		6	11	-5	
08	茨城			3		8	11	11		32	島根										
09	栃木	1		1			2	2		33	岡山	1		2		3		6	10	-4	
10	群馬			9		4	13	11	2	34	広島			6		12	1	19	18	1	
11	埼玉			11	1	10	22	21	1	35	山口			8		8		16	17	-1	
12	千葉	2		7		3	12	13	-1	36	香川			15		14		29	30	-1	
13	東京	7	2	8		23	40	43	-3	37	徳島	1				2		3	3		
14	神奈川	2		15	1	12	30	34	-4	38	愛媛	1		5		1		7	7		
15	山梨	2		12		9	23	24	-1	39	高知					3		3	3		
16	長野			8		1	9	9		40	福岡			3		5		8	9	-1	
17	新潟									41	佐賀					1		1	1		
18	富山			7		8	15		15	42	長崎	1		7		4		12	13	-1	
19	石川			6		16	22	25	-3	43	熊本										
20	福井	4		12		19	35	40	-5	44	大分	3		6		8		17	17		
21	静岡	2		7		6	15	17	-2	45	宮崎	1		2		3		6	6		
22	愛知	2		11		19	32	31	1	46	鹿児島	3		3		12		18	19	-1	
23	三重	1		8		4	13	19	-6	47	沖縄										
24	岐阜	1		8		20	29	29			合計	57	2	270	3	339	3				
											総合計	59		273		342		674			

	R4	R3	R2	H31	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22
A新規登録者	3	12	0	45	42	8	28	39	49	38	46	60	27
A年次登録者	339	350	385	415	429	509	489	497	499	502	537	609	663
AA新規登録者	3	0	0	3	0	1	3	12	5	12	7	15	18
AA年次登録者	270	296	312	350	348	393	396	425	444	446	463	477	488
AAA新規登録者	2	0	0	0	1	2	3	2	1	3	1	1	4
AAA年次登録者	57	66	58	58	61	62	64	62	61	58	55	55	53
公認審判員数	674	724	755	871	881	975	983	1,037	1,059	1,059	1,109	1,217	1,253

令和4年度都道府県別競技者登録数								増減									増減
		令和3年度			令和4年度						令和3年度			令和4年度			
		男子	女子	計	男子	女子	計			男子	女子	計	男子	女子	計		
1	北海道		1	1				-1	25	滋賀	7	2	9	7	2	9	
2	青森								26	京都	16		16	17		17	1
3	岩手	32	21	53	19	10	29	-24	27	大阪	13	8	21	17	12	29	8
4	宮城	30	4	34	29	5	34		28	兵庫	43	13	56	40	9	49	-7
5	秋田	51	13	64	44	12	56	-8	29	奈良	24	2	26	21	2	23	-3
6	山形								30	和歌山	2	10	12	10	9	19	7
7	福島	8		8	7	1	8		31	鳥取	11		11	8		8	-3
8	茨城	18	5	23	14	6	20	-3	32	島根							
9	栃木	5	1	6	34	6	40	34	33	岡山	13	4	17	12	7	19	2
10	群馬				10		10	10	34	広島	17	7	24	18	7	25	1
11	埼玉	1		1	13		13	12	35	山口				14		14	14
12	千葉	4		4	3		3	-1	36	香川		1	1		1	1	
13	東京	36	1	37	31	1	32	-5	37	徳島		1	1	5	1	6	5
14	神奈川	29	10	39	45	9	54	15	38	愛媛		1	1	10	1	11	10
15	山梨	23	10	33	15	10	25	-8	39	高知				3	10	13	13
16	長野	48		48	48		48		40	福岡	19	10	29	39	10	49	20
17	新潟								41	佐賀							
18	富山	12	8	20	12	8	20		42	長崎	14		14	14		14	
19	石川	24	17	41	32	26	58	17	43	熊本							
20	福井	13	3	16	18	13	31	15	44	大分	25	15	40	26	16	42	2
21	静岡	28	11	39	20	8	28	-11	45	宮崎							
22	愛知	13	11	24	6	11	17	-7	46	鹿児島	44	15	59	43	14	57	-2
23	三重	11	1	12	11	1	12		47	沖縄							
24	岐阜	34	10	44	24	10	34	-10		合計	668	216	884	739	238	977	93

競技者登録数の推移

R4	R3	R2	H31	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24
977	884	1,036	1,846	1,928	1,818	1,892	2,170	2,148	2,188	2,229

公益目的事業（公1）綱引の普及啓蒙事業

1 国内競技会の開催

令和4年度競技会日程

月日	競技会名称	開催場所
令和4年 6月25・26日	栃木国体（公開競技）	大田原市県北体育館
8月7日	2022全日本ジュニア・ユース綱引選手権大会大会	京都市島津アリーナ
令和5年 3月4・5日	2023全日本綱引選手権大会	駒沢オリンピック公園 総合運動場体育館

① 開催体制の強化

2022全日本ジュニア・ユース綱引選手権大会が京都市島津アリーナで8月7日に開催されました。京都市での開催と言うことで、連盟も最大限の人員を確保し、無事終了することが出来ました。

② 新規公認審判員の認定

新規公認審判員の認定につきましては、今年度も各地で認定試験が実施されましたが、コロナ感染症の関係や、大会の中止等もあり、残念ながら前年に比して受講者は減少しました。

③ AAA審判員認定講習会及びスキルアップ研修会

新規AAA審判員認定講習会は開催されましたが、受講者が2名でした。認定講習会の開催にあたりましては、受講者が最低は7名以上居ないと、各種経費が大きく赤字となります。今年度も、その様な状態でありました。今後は受講者の人数の検討が必要かと思えます。

また、スキルアップ研修会につきましては、会場や、日程の都合から、開催が出来ませんでした。

④ 中央研修会の開催

今年度は、技術審判員会を中心として、西日本会場（兵庫県）東日本会場（群馬県）の二カ所で開催されました。令和5年度も、西と東の2会場での開催を実施する予定です。

⑤ アンチ・ドーピング教育

アンチ・ドーピング教育はいまや日本のスポーツ界における大きな課題とされています。「コーチ1」研修会はもとより、中央研修会等、ありとあらゆる機会に於いて教育指導を実施してきました。今後は更なる強化が必要と思われれます。

⑥ 公認指導者コーチ1講習会

公認指導者コーチ1講習会は今年度は8名の受講がありました。無事に全員が講習会を終了いたしました。

2 綱引文化推進事業

- ① 全国各地で実施されています綱引に関する伝統行事、イベント等には、要請が有ったりしまして、積極的に参加、協力してきました。今後も同じように協力参加をしていきたいと思えます。

以上

## 継続組織の前提

### 1.財政基盤の確立

#### ①財務状況

当連盟は基本財産、特定資産が存在しない。よって強力体質ではない。  
また、最近のコロナパンデミックにより、外部環境に大きく影響を受けております。  
当事業年度は、協賛、広告料、寄付金が減少し当連盟としてもその対策に取り組んでまいりましたが、十分な活動とは云えなかった事は事実であります。  
令和4年6月より新執行部となったもののコロナ下であることも災いし、組織が充分機能しなかった点もその一因かと推察され、時間を要した事も考えられます。  
しかし、この状態で放置すれば組織的継続と云う点で、当連盟の法人としての継続的な活動に疑義を生じる事態となる事は充分認識しているところです。

#### ②人員体制の強化

採用の進捗について

令和4年度、複数名の面接を実施したものの、当連盟の求めるものとのギャップがあり、採用には至りませんでした。令和5年も引き続き、採用活動を継続し、早急に人材の確保を行い、当連盟の体制を整えてまいりたいと存じます。

以上①②については、現在是正中であります。現時点においてこれらの事が実現されていないことから、当連盟として当該状況を早急に解消し、業績及び財務体質の改善に努めてまいります。